

第21回東日本事例研究
オンライン発表会

リスタート
～再開までの道のり～

スマリンフィルケア株式会社
グランフォレスト目白
笠嶋 久史



T様について ~ご紹介~

【年齢・性別】 89歳、女性

【介護度】 要介護2

【出身地】 静岡県沼津市

【人となり】 オセロが好きな、アクティブな方

【ご入居前の生活状況】

旦那様は30年前に他界、以降ひとり暮らし

平成22年1月頃より腰痛が悪化

平成22年5月グランフォレスト目白にご入居



T様について

～入居時のご様子～

【日常生活動作】

自立

【手段的日常生活動作】

金銭管理、服薬管理の支援が必要

【既往歴】

高血圧症（主）、アルツハイマー型認知症、慢性腎臓病
肝血管腫、食道裂孔ヘルニア、腰痛症、骨粗鬆症疑い

【お薬の内容】

レニバーゼ、アムロジピン



倫理的配慮について

T様に事例発表の内容と目的について、書面及び口頭で説明し同意書にサインをいただきました。

ご家族様へも口頭で説明をおこない、同意書にサインをいただきました。

プライバシー保護の為、発表に使用する資料は個人を特定できないようにアルファベットを使用し、写真にはモザイクをかけることを説明しました。

資料作成に関するデータや資料そのものは、事業所内パソコンに保存し、事業所外に持ち出し禁止としました。

事例の発表はYouTubeにて発表されることを説明し、協力・非協力に関わらず不利益が生じないことを説明しました。



取り組みのきっかけとなる エピソード

平成22年5月ご入居

オセロや買い物・散歩を楽しまれ生活される



令和3年4月

浴室で転倒、左第9肋骨にヒビが入る

以後、慢性的な胸部の痛みが続き、

自分で歩くことが難しくなる



<ご本人の希望>

- ① 誰にも迷惑をかけないように生活したい
- ② トイレにひとりでいきたい
- ③ 体操・散歩を続けたい
- ④ 今まで通りオセロをやりたい



<最初の目標> 4月26日～5月10日

- ①自分のお部屋を自由に移動できること
- ②自分の部屋のトイレにひとりで行けること

<目標設定のポイント>

- ①ご本人の希望にマッチしていること
- ②いきなり高い目標を設定せず、実現可能なレベルで少しずつステップアップできるような目標にすること



【ご本人含めた各職種の役割分担】

～ご本人～

- ① 移動する時はケアコールで職員を読んでもらう
- ② ベッドから起き上がる時は、ベッドサイドレールを使いながら痛みのポイントを避けつつ、ご自分で起き上がってもらう
- ③ 車椅子からの移乗する時は、手すりやアームサポートを使用しながら、ご自分で移乗してもらう
- ④ ②と③が安定してきたところで、シルバーカーを使用していく

～ケアワーカー～

- ① ご本人様の見守り
- ② ご本人様のできる事を見極めて、必要以上の介助はしない
- ③ 精神的支援（共感的な声掛け、励まし）



【ご本人含めた各職種の役割分担】

～機能訓練指導員～

- ① 週に1回、平行棒を使用した機能訓練をマッサージ
- ② 本人の状態に合わせた介助方法のアドバイスや指示
- ③ 機能評価

～看護師～

- ① 毎日の様子や痛みの確認と共有
- ② 医療に関する情報共有
- ③ 往診医へリハビリに関する情報提供とリハビリプログラムに関する相談



【ご本人含めた各職種の役割分担】

～生活相談員～

- ① 精神的支援（共感的な声掛け、励まし）

～介護支援専門員～

- ① ケアプランの作成
- ② ご家族様への情報共有
- ③ カンファレンスの開催と評価



<第2段階の目標> 5月11日～6月8日

- ①フロア内の移動（約30m）をご自分で歩くこと
- ②毎日体操に参加すること

<目標設定のポイント>

自発的に取り組めることを設定し、自分自身の変化を実感していただくことで、自己肯定感が高められること



▶ 【ご本人含めた各職種の役割分担】 ※新たな取り組みは赤字表記

第1段階～ご本人～

- ① 移動する時はケアコールで職員を読んでもいただく
- ② ベッドから起き上がる時は、ベッドサイドレールを使いながら痛みのポイントを避けつつ、ご自分で起き上がっていただく
- ③ 車椅子からの移乗する時は、手すりやアームサポートを使用しながら、ご自分で移乗していただく
- ④ ②と③が安定してきたところで、シルバーカーを使用していく



第2段階～ご本人～

- ① 居室から出て移動する時はケアコールで職員を読んでもいただく
- ② フロアを歩く時はシルバーカーを使う
- ③ 機能訓練指導員の立案した、居室でできる自主トレーニングをする
- ④ 毎日体操に参加する



【ご本人含めた各職種の役割分担】 ※新たな取り組みは赤字表記

第1段階～ケアワーカー～

- ① ご本人様の見守り
- ② ご本人様のできる事を見極めて、必要以上の介助はしない
- ③ 精神的支援（共感的な声掛け、励まし）



第2段階～ケアワーカー～

- ① 移動時の付き添い（ご本人様が早く歩いてしまうため、シルバーカーに手を添えながら、スピードをコントロールする）
- ② 精神的支援（共感的な声掛け、励まし）



【ご本人含めた各職種の役割分担】 ※新たな取り組みは赤字表記

第1段階～機能訓練指導員～

- ① 週に1回、平行棒を使用した機能訓練をマッサージ
- ② 本人の状態に合わせた介助方法のアドバイスや指示
- ③ 機能評価



第2段階～機能訓練指導員～

- ① 週に1回、平行棒とプーリー（滑車運動）を使用した機能訓練とマッサージ
- ② ご自分おひとりでできるリハビリプログラムの立案と説明
- ③ 本人の状態に合わせた介助方法のアドバイスや指示
- ④ 機能評価



【ご本人含めた各職種の役割分担】 ※新たな取り組みは赤字表記

第2段階～看護師～

- ① 医療に関する情報共有
- ② 往診医へリハビリに関する情報提供とリハビリプログラムに関する相談
- ③ 精神的支援（共感的な声掛け、励まし）

第2段階～生活相談員～

- ① 精神的支援（共感的な声掛け、励まし）

第2段階～介護支援専門員～

- ① ケアプランの作成
- ② ご家族様への情報共有
- ③ カンファレンスの開催と評価



<最終段階の目標> 6月10日～7月20日

付き添われながら外の散歩を定期的に行うこと

<目標設定のポイント>

- ① 少しずつ歩ける距離を延ばすこと
- ② 外に出るといふ新たなチャレンジをおこない、自分自身の変化を意識していただくこと
- ③ 外に出ることによって気分をリフレッシュしていただくこと



【ご本人含めた各職種の役割分担】 ※新たな取り組みは赤字表記

第2段階～ご本人～

- ① 居室から出て移動する時はケアコールで職員を読んでいただく
- ② フロアーを歩く時はシルバーカーを使う
- ③ 機能訓練指導員の立案した、居室でできる自主トレーニングをする
- ④ 毎日体操に参加する



第3段階～ご本人～

- ① 事業所内を自由に歩く自主トレーニングをする
- ② 定期的に事業所外周の付き添い散歩と歩行訓練をする
- ③ 機能訓練指導員の立案した、居室でできる自主トレーニングをする



【ご本人含めた各職種の役割分担】 ※新たな取り組みは赤字表記

第2段階～ケアワーカー～

- ① 移動時の付き添い（ご本人様が早く歩いてしまうため、シルバーカーに手を添えながら、スピードをコントロールする）
- ② 精神的支援（共感的な声掛け、励まし）



第3段階～ケアワーカー～

- ① 早く歩きすぎないように声をかける
- ② 精神的支援（本人の努力を讃えるような声掛け）



【ご本人含めた各職種の役割分担】 ※新たな取り組みは赤字表記

第2段階～機能訓練指導員～

- ① 週に1回、平行棒とプーリー（滑車運動）を使用した機能訓練とマッサージ
- ② ご自分おひとりでできるリハビリプログラムの立案と説明
- ③ 本人の状態に合わせた介助方法のアドバイスや指示
- ④ 機能評価



第3段階～機能訓練指導員～

- ① 週に1回、平行棒とプーリー（滑車運動）を使用した機能訓練をマッサージ
- ② ご自分おひとりでできるリハビリプログラムの立案と説明
- ③ 機能評価
- ④ 事業所外周の歩行訓練



【ご本人含めた各職種の役割分担】 ※新たな取り組みは赤字表記

第2段階～看護師～

- ① 医療に関する情報共有
- ② 往診医へリハビリに関する情報提供とリハビリプログラムに関する相談
- ③ 精神的支援（共感的な声掛け、励まし）



第3段階～看護師～

- ① 医療に関する情報共有
- ② 精神的支援（本人の努力を讃えるような声掛け）



【ご本人含めた各職種の役割分担】 ※新たな取り組みは赤字表記

第2段階～生活相談員～

- ① 精神的支援（共感的な声掛け、励まし）



第3段階～生活相談員～

- ① 精神的支援（本人の努力を讃えるような声掛け）
- ② 事業所外周の散歩付き添い



【ご本人含めた各職種の役割分担】 ※新たな取り組みは赤字表記

第2段階～介護支援専門員～

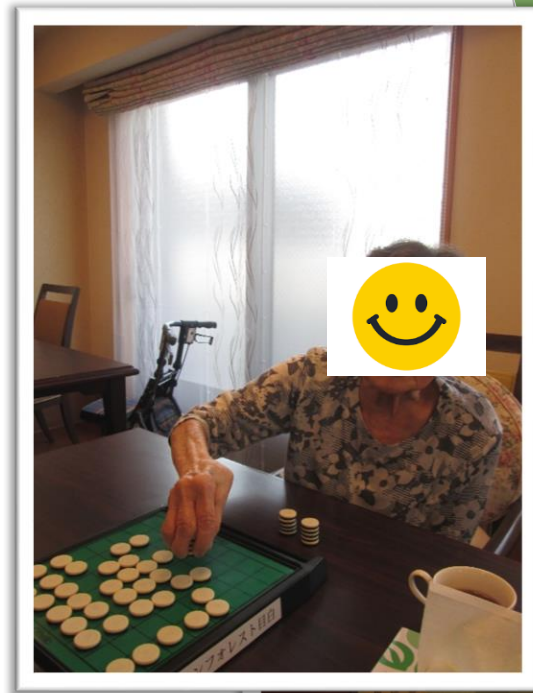
- ① ケアプランの作成
- ② ご家族様への情報共有
- ③ カンファレンスの開催と評価



～介護支援専門員～

- ① ご家族様への情報共有
- ② カンファレンスの開催と評価
- ③ 精神的支援（本人の努力を讃えるような声掛け）
- ④ 事業所外周の散歩付き添い



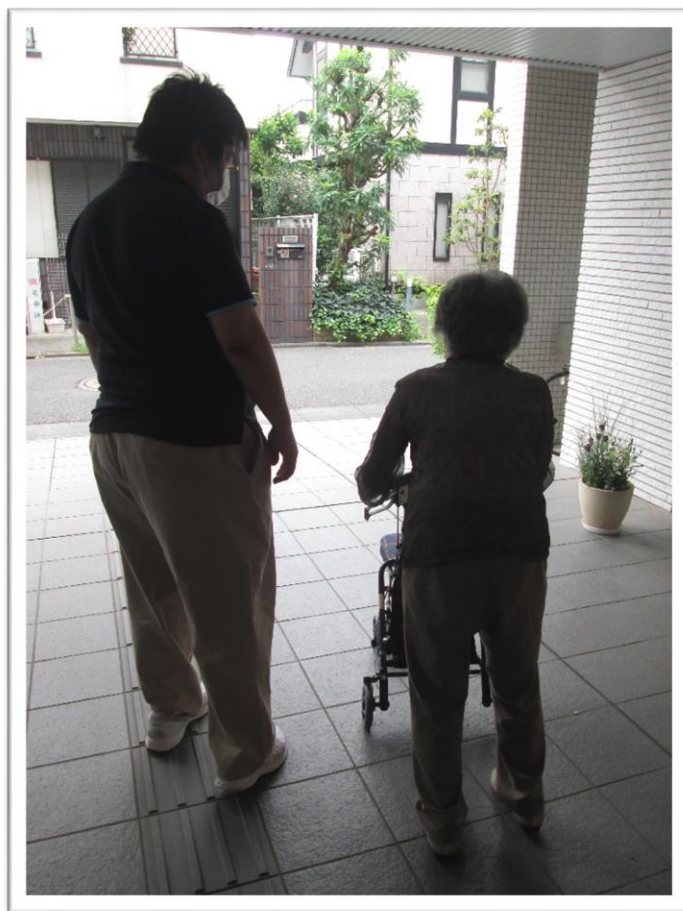


<結論>

- ①ご本人様の「歩きたいという」強い意志があり、明確な目標設定があることが重要
- ②多職種が協力し目標に向かっていく「チームケア」を実践することで、効率よく目標達成までたどり着ける
- ③目標設定を細かく設定し、小さな成功体験を積み重ねることがご本人様の自己肯定感に繋がる
- ④ご本人様の身体状況に合わせ、精神状態も把握することが重要



最後に



～リスタートはいつでもできる～



ご清聴ありがとうございました

